



消防大学校だより

危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース（第5回）

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災担当、国民保護担当者を対象とした研修課程で、その業務に必要な行政動向等の知識及び能力を習得させることを目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

平成27年度の危機管理・国民保護コースにおいては、第5回学生76名（平成27年5月25日～29日）が、消防大学校での5日間の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

研修は、消防庁幹部による国民保護法制の概要に関する講義をはじめ、専門家による「危機管理の初動や応急対応」に関する講義、災害事例として広島市の危機管理課長による昨年8月に発生した広島市の豪雨災害における対応要領等、危機管理担当者として実践的なカリキュラム編成で実施し、必要な知識及び能力の習得に努めました。

課題研究では、入校前に付与した「実践的な防災訓練のあり方について（一般災害）」及び「地方自治体の有事対応力について（国民保護）」の2つのテーマについて、各班で活発な意見交換がなされ、代表者が発表を行うことで各自治体が直面している課題について多くの意見が交わされました。

研修を終えた学生からは、「全国各地から最新の防災に対する課題や、災害対応等の問題点を情報交換する中で、国民保護の理解が深まり、危機管理の基本を学ぶことが出来た」、「他県・他部局の考え方や進め方を知る機会を得て有益であった」等の意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で習得した知識を発揮するとともに、共同生活で培った各自治体のネットワークを活かして、それぞれの地域での更なる活躍が期待されます。



消防庁国民保護室 川島室長による講義



広島市危機管理室 西本危機管理課長による講義



指揮シミュレーション訓練の様子



課題研究発表の様子

危機管理・防災教育科 自主防災組織育成コース（第11回）

消防大学校では、都道府県、市町村及び消防本部等の自主防災組織の指導・育成担当者を対象とした研修課程で、自主防災活動の推進、多様な図上訓練等、その業務に必要な高度な知識及び能力を習得させることを目的に「危機管理・防災教育科 自主防災組織育成コース」を実施しています。

平成27年度の自主防災組織育成コースにおいては、第11回学生68名（平成27年6月3日～9日）が、消防大学校での5日間の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

研修は、消防庁幹部による防災行政の現状と課題に関する講義をはじめ、地域防災の問題点や課題等の研究と教育・指導技法、訓練手法等を主眼として、専門家による「大規模自然災害」に関する講義、市民活動の実際として女性の視点から見た実経験に基づく避難所運営に関する講義、図上訓練（DIG）手法、災害シミュレーショ

ン等、自主防災組織の指導・育成に必要な知識及び能力の習得に努めました。

また、課題研究では、各班ごとに日頃抱えている問題点の中から研究課題を決定し、その解決策を探るため、限られた時間の中で、行政職員と消防職員が各々の視点から活発な意見交換を行い、各関係機関との連携の重要性について認識と理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「行政、消防職員と立場の違う職員の情報共有ができた」、「他県、行政、消防等、多様な学生と交流し意見を交わすことができ、現場で活かせることを多く学べた」等の意見が多く寄せられました。

今後は、自主防災組織を指導・育成していく上で、消防大学校で得た知識、技術を十分に活用し、それぞれの地域で活躍されることが期待されます。



名古屋大学減災連携研究センター 福和教授による講義



図上訓練（DIG）手法の習得訓練の様子

問合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712